

J-GATE3.0 の稼働に伴う取引制度の見直し等について

2020年5月13日
株式会社大阪取引所

I. 趣旨

当社は、株式会社日本取引所グループの中期経営計画の重点戦略の一つとして掲げている「次世代に向けた「市場のカタチ」の追求」を実現するため、環境変化・ニーズに即したマーケットプラットフォームの構築を目指す取組みとして、2021年度第3四半期稼働目途に次期デリバティブ売買システム（J-GATE3.0）の開発作業を進めています。

J-GATE3.0では、システムの信頼性等の更なる向上を図るとともに、「Launch Timely」というコンセプトのもと、機動的な商品・機能追加を実現し、また、ロングテール商品の成長を促すことで、デリバティブ市場の発展を目指します。

こうした一連の取組みの一環として、投資家や取引参加者をはじめとした市場利用者にとっての信頼性・利便性の向上を図る観点から、J-GATE3.0の稼働時から以下のとおり取引制度の見直し等（※）を行うこととします。

なお、現在当社ではデリバティブの祝日取引制度について、J-GATE3.0の稼働後できるだけ早期（稼働後1～2年を目途）の実施に向けた検討を行っており、本年6月頃を目処に検討結果を公表する予定です。

※ 株式会社東京商品取引所に現在上場している一部商品は2020年7月を目途に当社市場へ移管されますが、当該移管商品についても本取引制度の見直し等の対象とすることとします。

II. 概要

項目	内容	備考
1. 取引時間関係 (1) 夜間立会の拡大	<ul style="list-style-type: none">夜間立会のレギュラー・セッションの終了時刻を午前5時55分に変更し、夜間立会のクロージング・オークションを午前6時に行うこととします。	<ul style="list-style-type: none">現行の夜間立会のクロージング・オークションは午前5時30分。日経平均V I先物取引及び移管商品のうちゴム市場の上場商品については、現行どおり夜間立会のレギュラー・セッションの終了時刻は午後6時55分

項目	内容	備考
<p>(2) 指数オプション取引に係る日中立会のレギュラー・セッション開始時刻の変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指数オプション取引に係る日中立会のオープニング・オークションを午前8時45分に行うこととし、レギュラー・セッションの開始時刻を午前8時45分に変更します。 	<p>とし、夜間立会のクロージング・オークションを午後7時に行うこととします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現行では、オープニング・オークションを午前9時に行い、レギュラー・セッションを午前9時から開始。 オープニング・オークションに係る呼値は、現行と同じく午前8時から行うことができます。 日経平均V I 先物取引に係る日中立会のオープニング・オークションは、現行どおり午前9時に行うものとします。
<p>2. 取引規制関係 (1) 即時約定可能値幅のオープニング・オークション等への適用</p>	<ul style="list-style-type: none"> オープニング・オークション等に即時約定可能値幅を適用することとします。 	<ul style="list-style-type: none"> 現行では、オープニング・オークションは即時約定可能値幅制度の対象外。 オープニング・オークションに適用する即時約定可能値幅は、円滑な取引開始のため、レギュラー・セッションより広く設定します(別紙1参照)。

項目	内容	備考
<p>(2) クロージング・オークションに適用する即時約定可能値幅の変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指数先物取引、商品先物取引及び指数オプション取引の日中立会及び夜間立会のクロージング・オークションに適用する即時約定可能値幅を変更することとします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変更後の即時約定可能値幅については、別紙1をご参照ください。 ・ 国債証券先物取引、国債証券先物オプション取引及び有価証券オプション取引の日中立会及び夜間立会のクロージング・オークションに適用する即時約定可能値幅は現行どおりとします。
<p>(3) サーキット・ブレーカー制度の発動基準の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引の一時中断（以下「サーキット・ブレーカー」といいます。）について、各商品の中心限月取引において、呼値の制限値幅の上限の値段又は下限の値段で取引等が行われた場合、直ちにサーキット・ブレーカーを発動することとします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行では、呼値の制限値幅の上限の値段又は下限の値段で取引等が行われた後、本所が定める一定の時間が経過するまでの間に本所が定める値幅外の値段で取引（ストラテジー取引を除く。）が成立しない場合に、サーキット・ブレーカーを発動することとしています。
<p>(4) 指数先物取引の呼値の制限値幅に係る設定頻度の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下に掲げる指数先物取引の呼値の制限値幅に係る制限値幅算定基準値を当該取引日の呼値の制限値幅の基準値段とし、取引日単位で制限値幅を設定することとします。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 日経平均株価 ➤ 東証株価指数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行では、原則として、3月1日、6月1日、9月1日及び12月1日に終了する取引日の25日前に当たる日に終了する取引日から起算して20日間にお

項目	内容	備考
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ JPX 日経インデックス 400 ➤ 東証マザーズ指数 ➤ Russell/Nomura Prime インデックス ➤ TOPIX Core30 ➤ 東証銀行業株価指数 ➤ 東証 REIT 指数 ➤ ダウ・ジョーンズ工業平均株価 ➤ 台湾加権指数 ➤ FTSE 中国 50 インデックス 	<p>ける取引対象指数ごとの中心限月取引に係る毎取引日の呼値の制限値幅の基準値段の平均値を制限値幅算定基準値としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行では、上記により算出した制限値幅算定基準値にあらかじめ定めた比率を乗じて得た値を呼値の制限値幅として設定し、原則、3か月ごとに見直すこととしています。 ・ 左記に掲げる指数先物取引以外の呼値の制限値幅は現行どおりとします。
<p>3. 商品制度関係</p> <p>(1) 国債証券先物オプション取引の権利行使価格の刻み及びその数の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな限月取引に設定する権利行使価格の刻みは、権利行使により成立する国債証券先物取引の対象銘柄の額面 100 円につき、25 銭刻みで設定する 25 銭の整数倍の価格とします。 ・ 新たな限月取引に設定する権利行使価格は、取引開始日の前営業日における権利行使対象先物限月取引の清算値段に最も近接する権利行使価格を中心として上下 20 種類ずつ、合計 41 種類設定することとします。 ・ 権利行使価格の追加設定は、前営業日の権利行使対象先物限月取引の清算値段に最も近接する権利行使価格を上回る又は下回る権利行使価格がそれぞれ 25 銭刻みで連続して 20 種類以上設定されるようにします。 ・ また、上記の権利行使価格の刻みの見直しに伴い、取引識別（9 桁コード）の設定ルールを見直すこととし、J-GATE3.0 の稼働日以降に開始・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行は 50 銭刻み。 ・ 現行は上下 10 種類ずつ、合計 21 種類設定。 ・ 具体的なコードの設定ルール及び新旧コードの適用期間の

項目	内容	備考
<p>(2) 日経平均オプション取引に係る週次設定限月取引の権利行使価格の数の見直し</p>	<p>新規設定される限月取引・銘柄より見直し後のコード設定ルールを適用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな週次設定限月取引に設定する権利行使価格は、取引開始日の前営業日における対象指数の最終の数値に最も近接する権利行使価格を中心として、上下 24 種類ずつ、合計 49 種類設定することとします。 週次設定限月取引に設定する権利行使価格の追加設定は、前営業日の最終の対象指数の数値に最も近接する権利行使価格を上回る又は下回る権利行使価格が 125 円刻みで連続して 24 種類以上設定されるようにします。 	<p>イメージについては別紙 2 をご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現行は上下 8 種類ずつ、合計 17 種類設定。
<p>(3) 日経平均オプション取引に係る呼値の単位の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日経平均オプション取引に係る呼値の単位について、プレミアムが 1,000 円を超える場合の単位を 5 円とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 現行では、プレミアム 1,000 円超の場合の呼値の単位は 10 円。 週次設定限月取引も対象とします。
<p>(4) ゴム市場の限月取引の数の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ゴム市場の限月取引の数は、新規限月設定日の属する月の翌月から起算した 12 月以内の各月とし、12 限月制とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 現行は、新規限月設定日の属する月の翌月から起算した 6 月以内の各月の 6 限月制。
<p>(5) 既存商品の上場廃止</p>	<ul style="list-style-type: none"> 過去の取引実績等を踏まえ、J-GATE3.0 稼働時に TOPIX 配当指数先物取引及び TOPIX Core30 配当指数先物取引を上場廃止することとします。 	<ul style="list-style-type: none"> 両指数先物取引は、取引日 2020 年 8 月 17 日から取引を休止し新たな限月取引を開始しません。 両指数先物取引の休止に合わせて、東京証券取引所は TOPIX 配当指数及び TOPIX Core30 配

項目	内容	備考
		<p>当指数の算出・公表を一時的に停止します。また、上場廃止以降は両指数の算出・公表を恒久的に停止します。</p>
<p>4. フレックス商品関係 (1) 指数先物取引におけるフレックス限月取引</p> <p>(2) オプション取引におけるフレックス限月取引</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指数先物取引におけるフレックス限月取引を導入します。 ・ 以下に掲げる指数先物取引を対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 日経平均株価 (Large 取引) ➤ 東証株価指数 (Large 取引) ➤ JPX 日経インデックス 400 ➤ 東証銀行業株価指数 ➤ 東証 REIT 指数 ➤ 日経平均トータルリターン・インデックス ・ 売買システムによる取引を行うものとします。 ・ 取引時間は次のとおりとします。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 指数オプション取引 午前 8 時 20 分から午後 4 時、午後 4 時 15 分から翌日午前 6 時 ➤ 有価証券オプション取引 午前 8 時 20 分から午後 4 時、午後 4 時 15 分から午後 5 時 30 分 ・ 取引日は、一の日 (休業日を除く。) の午後 4 時 15 分から、その翌日の午後 4 時までとします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細については、別紙 3 をご参照ください。 ・ 新たに導入する日経平均トータルリターン・インデックス先物取引については、フレックス限月取引のみを設定することとします。 ・ 現行は Target による注文受付。 ・ 現行は午前 8 時 20 分から午後 8 時。 ・ 現行は午前 8 時 20 分から午後 5 時 30 分。 ・ 現行では、取引日は、一の日 の午後 3 時 30 分からその翌日の午後 3 時 30 分までをいい、午後 3 時 30 分に取引日が

項目	内容	備考
		開始。
<p>5. その他</p> <p>(1) オプション取引に係るストラテジー取引制度の廃止</p> <p>(2) 対当値段条件付注文の廃止</p> <p>(3) コンボ取引機能の廃止</p> <p>(4) 約定率に応じた注文制限 (OTR) の導入</p> <p>(5) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ オプション取引に係るストラテジー取引(テイラーメイド・コンビネーション) 制度を廃止します。 ・ 対当値段条件付注文(価格の限度を指定せずに発注し、最良の売呼値又は買呼値と対当する指値注文)に係る機能を廃止します。 ・ J-NETコンボ取引(複数の銘柄(最大6銘柄)の取引を同時に取引成立させることができるJ-NET取引をいいます。)及びフレックスコンボ取引(複数の銘柄(最大10銘柄)の取引を同時に取引成立させることができるフレックス限月取引をいいます。)に係る機能を廃止します。 ・ 取引参加者の効率的な注文を促しJ-GATE3.0のキャパシティ保全を図るため、取引参加者に対し当社が定めた約定率に応じた注文制限(OTR: Order Trade Ratio)を導入することとします。 ・ その他、所要の改正を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テイラーメイド・コンビネーションは、同一商品中において最大4銘柄まで組合せ、価格、売り買いの別などをそれぞれ自由に設定した新たなストラテジー銘柄を作成し、取引を行うことができる機能。 ・ OTRの具体的な内容及び運用については、今後、取引参加者に通知します。

Ⅲ. 実施時期（予定）

J-GATE3.0 の稼働日（2021 年度第 3 四半期予定）から実施します。

以 上